

## 京都水道グランドデザインについて（概要）

### 1 趣旨

人口減少社会の到来等、水道事業を取り巻く厳しい環境の変化に対応し、将来にわたる安心・安全な水道水の供給体制を築くため、府が府内全域の水道事業の方向性を示したもので、京都府の「地域水道ビジョン」に当たります。

#### （1）概要

3つの視点（安全の保証、危機管理への対応、持続性の確保）から府内水道事業者の8つの取組項目とこれらに係る将来目標を定めるとともに、府域を3つの圏域に分け、圏域ごとに広域化・広域連携\*を進めることとしています。これらの取組を進めるために、水道事業者等を支援するのが府の役割です。

#### （2）期間

2019年度から2028年度の10箇年とし、目標期間は、短期が5年後、中期が10年後、長期が20年後とします。

※広域化は主として事業統合を、広域連携や複数事業者が相互協力して行う施設の共同設置、事務の共同委託等を指します。

### 2 本市との関わり

府が3つに分けた圏域のうち、南部圏域に属します。

〈南部圏域の主な特徴〉

- ・府営水道が用水供給を行っている受水市町があり、危機管理や人材育成等でも連携した取組が行われている。
- ・府内最大規模の事業者である京都市や府営水道受水市町を中心に人口が集中している地域がある一方で、相楽郡等には小規模な水道施設が点在。

〈将来の方向性〉

- ・府営水道と受水市町の関係や京都市の組織力をてこに、広域連携を推進しながら、地域の実情を踏まえて、広域化を目指す

〈取組項目〉

- ・施設の共同設置、各種業務の共同実施や共同委託等の広域連携を幅広く検討
- ・今後の水需要予測等を踏まえ、適正な施設配置や規模等を調査研究・検討
- ・府営水道の将来のあり方について、広域化も視野に検討